

# なんもく 山村ぐらし通信

前月号に引き続き、今回も新たに2名の協議会新メンバーをご紹介！若くエネルギーシユなメンバーや、そう若くはないが気持ちだけは若者のメンバーも...。どうぞお見知りおきを！

## new! 協議会メンバー紹介



会計事務所の所長ではありません。こう見えても私、地域おこし協力隊・三好直明です！



懐かしい匂いのする地元に戻ってきました！「ケアハウスいこい」勤務の岩井麻希です。

からしだね  
わづらわしいと感じるよ  
うになると言い訳を考える  
ようになってしまうのが人  
間というもの。 罷しくつ  
て...』とはよく聞くセリ  
フ。時間とされているのは案外  
無駄にされているもので、  
ひとつずつ片付けてみると  
結構できることが多いもの  
です。さあ、やってみよう！

山村ぐらし支援協議会で  
は、昨春秋より月に一度程  
度の割合で、村内全域での  
空き家状況の再調査をはじ  
めています。この村内全域  
での空家調査は、以前、  
協議会発足時に一度行  
われたものですが、当  
時から6年近い年数が  
経過し、村内の空き家  
の状況も急速に変わっ  
てきていることから、  
移住者に向けて提供可  
能なあらたな住居物件  
掘り起こしも兼ね、再  
度調査をおこなうこと  
にしました。現在まで  
に、熊倉地区・星尾地  
区・羽沢地区・小沢地  
区を調査させていただ  
き、現在、千原・磐戸  
地区を調査中となっ  
ています。各地域を調査  
してみると、同じ南牧  
村の中でも地区・地域  
によって空き家の割合  
が違っており、住人が  
いる家を見つかる方が大  
な地区などもあり、今更  
なから限界集落という現実  
を目や耳で感じさせられ  
ることもしばしばです。ま  
た、古民家としては比較的  
良好な程度を保ち、きちん  
と管

## 村内空き家の再調査・進行中です！

理されている空き家が多い  
地区や、かなりの年数が経  
過し、そのまま放置されて  
いるために、外観からも朽  
ちてしまっているような空  
き家が目立つ地区等、  
地域によってずいぶん  
違いがあるものだと感  
じています。一軒一軒、  
歩いて調査していると、  
今まで南牧村に住  
んでいながら知らな  
かった『おおく！』と思  
わず声をあげてしま  
い、そんな美しい景色  
や、こんなところだ  
と、こんなものがあ  
ったんだ。』と立ち止  
まってしまうような面  
白建物、自然の造形か  
ら人口の造形物なども  
発見することができ、  
その都度新鮮な気持ち  
にもなります。また地  
元の方に声をかけて  
いただき、『ここは今  
○さんのせがれが管理  
してらる。』とか、『家  
中にへっぺいとか聞いて  
きてやらう。』とか、  
『お茶でも飲んでいき  
なさい！』など、改めて  
地域の方々の理解と協  
力があって初めて出来  
ることな

だなど感じました。これ  
からも全村を対象に調査  
は続きます。みなさんの  
地域にお邪魔した時は、  
お話を聞かせて頂いたり、  
なにかと迷惑お掛けする  
こともありますが、どう  
ぞよろしくお願ひ致し  
ます。調査に際しまして  
、事前に告知放送等で調  
査日・調査地区等の告知  
をさせていただきます。ご  
まします。お住まいの  
地域に首から身分証をぶ  
ら下げた怪しい一団が現  
れたらお気軽に声をかけ  
て頂ければ嬉しいもので  
す。調査隊長・中澤氏寄  
稿



調査隊五銃士（1名カメラの向こうでシャッターを押しています。）

2017(平成29)年8月発行  
通巻第22号版(夏季号)

発行責任者及び発行元：  
南牧山村ぐらし  
支援協議会  
問合せ：南牧村役場  
村づくり・雇用推進課  
協議会事務局  
電話：0274-87-2011(代)

紙面編集：広報FM



協議会QRコード

協議会HP  
<http://nanmoku.org/>  
活動内容や各種情報が  
随時更新中！

### 【29年度4~6月 空家問合件数】

電話による問合せ	29件
(4月)	11件
(5月)	11件
(6月)	7件
メール・手紙・FAXでの問合せ	12件
(4月)	6件
(5月)	3件
(6月)	3件
現地物件見学案内	16件
(4月)	6件
(5月)	6件
(6月)	4件

### 【協議会ウェブサイト 訪問・閲覧状況報告】

※4/24~(約3ヵ月間)

ページ閲覧数	89,561
サイト訪問数	6,725
サイト訪問者数	4,517
(同一人は1とカウント)	
平均ページ閲覧数	13.3ページ
1訪問当たり	13.3ページ

## 我・想・明・村

~告白！ジュリーのファンでした...~

自然がいっぱいのこの村の子供たちは、みんな明るくて、素直でかわいらしい。そんな子供たちのこと  
れからのことを考えると、自分のことのように不安  
を感じる。私もそうだが、子供が成長し手を離れ  
るようになると、いつの間にか村の子育て環境への  
関心が薄れ、他人事のような感覚になってしまうこ  
とがある。きつと、いまこの村で小さな子供を持  
つ家庭では、さまざまな不安を抱えているだろうと  
思う。少人数での子育て環境には少人数ならではの  
メリットがあると思うが、これからはますます子供の  
数が減っていくことによって、デメリットの方が多  
くなっていくことだろうと思う。

豊かな自然に囲まれ、春には家の周  
りでふきのとう・たらっぺなど春の味  
わいがあり。夏には菜園で取れた夏野  
菜。子供たちが小さかった頃は近くの  
川で楽しそうに遊ぶ姿。秋は秋で裏山  
で取れる柿の実、栗、そしてクルミの  
実もとっても美味！山の恵み。冬はあ  
まり好きではなかったが、寒い日に家  
族が揃って炬燵に入りなるとはなしに  
語らい笑いがこぼれる団欒...温か  
かった炬燵のある居間。  
豊かな時間が流れていた村での生活  
を、少なくとも子供たちにも味  
わってほしいと願っている。そのためにも子育てを  
経験してきた人たちが、若い世代の子育て環境に無  
関心でいることがないように、明るくて、素直でか  
わいらしい子供たちのために何が出来るのかを、み  
んなで考えて協力していきたいと思っている。  
東京から2時間ほどアクセスでき、自然あふれる  
環境が残っているこの村をもっとたくさんの人に知  
ってほしいし、若い世代にとっても住みやすい環境  
作りに協力できればと思っている。

# タイムマシンなんもく号

～磐戸橋の今昔～



昭和30年代の磐戸橋

南牧川沿いに県道を走ると、数回川を渡ります。村内で一番最初に県道として南牧川を渡るのが「磐戸橋」です。今懸かっている橋は昭和37年11月に完成とあります。多少欄干に錆びはありますが、南牧の大動脈です。平成19年の台風災害の時は、溢れ出た川の水が今にも届きそうでした。

その磐戸橋も、以前は吊り橋でした。写真①は昭和30年頃のものでしょうか。旧尾沢農協の倉庫は、栃木県の大谷石を使っています。建設当時、その石を積んだ車が吊り橋の磐戸橋を通れるかどうか、渡れるかどうか、みんな心配して見ていたそうです。未舗装の道だから、おそろく砂ぼこりも凄かったんだらうな…ちなみに橋には入口と出口があり、「磐戸橋」と書いてあるのが入口、平仮名で「いわだぼし」が出口です。く磐戸橋の見守り隊長 金田寄稿



現在の磐戸橋

南牧村に来て3ヶ月が経ちました。季節が移りゆくなか、日々村の自然豊かな景色と南牧川の澄んだ清流が見せてくれる光景に、毎回感動をしています。

そんな、南牧村民としては「ひよっこ」の私 地域おこし協力隊(谷津)が最近とつても感動したのが、川沿いでホテルを見たことです。現在道の駅で研修させてもらっているのですが、最近村の方からホテルを見たというお話を伺い、自分も実際に見てみたいと、道の駅の同志でホテル探検隊を結成したのでした。

そして7月に入ったある日のことです。ついに、ホテル探検隊の初出勤です。村内の、とある地区の川沿いで見たという目撃情報を

## 『ぶらいなんもく村』

～ほ ほ ほ～たる来い～

頼りにひたすら進み…。私は、川沿いを目を凝らして見ていました。すると「ほわっ」と青いかな光が目の前

に現れました。早速車から降りて、川岸をのぞき込みます。「くっも光ってる！」小学生の時にホテルを見て以来の体験にテンションも上がります。しかも、私が昔見たのは田んぼの脇を流れる小川で数匹を見ただけ。今回は、溪流沿いの木々に止まっているホテルもいて、まるで天然のクリスマスツリーのようにです。淡く光るホテルは、ゆーっくり飛んで光っては消えてと、とても幻想的で時間の感覚がわからなくなるような、不思議な体験でした。後で調べてみると、清流が流れているだけでなく、ホテルの出入り時間や条件があることを知り、この時期しか味わえない貴重な体験が出来たのだなあと、とても嬉しく思いました。これからアンテナをしっかりと張って、南牧村の魅力を見つけたいこうと思います。

く自転車で風を切る 谷津特派員寄稿

## 六車八木節

六車地区に伝わる伝統



「こうやって…こう！」 簡単そうにやっているのに、難しい…

南牧村六車 ぐるくるま 地区で活動している「六車八木節保存会」私は、南牧村に来た当初から、保存会の活動に参加させていただいています。この六車八木節は、夏のお盆時期に開催

される「ぶらさど祭り」や村の老人ホームで催される「ぞわやかホームの納涼祭」、「ヲラオケ大会」の舞台で披露されていて、村内の方々に楽しんで頂いているのですが、現在、八木節保存会は存続が危ぶまれているのです。

この六車八木節、始まった時期や経緯は不明なのですが、保存会の会員が知っている限りでは、遅くとも1953年には存在していたそうです。当時は村内の各集落で青年団などを中心に踊っていたということなのですが、時が経ち、次第に踊る集落も少なくなり、担い手を確保することも難しくなり、一時は途絶えてしまったそうなのです。そんな中、約20年前に発足し

たのが現在の六車八木節保存会です。

そんな八木節保存会も、すでに会員の高齢化が進んでおり、村内から後継者を探しても見つからない状態になってしまいました。ここ幾年かで村への若い移住者が保存会に加わったものの、継承していくにはまだまだ厳しい状況。そこで、首都圏を中心に村外から南牧村を盛り上げていくために活動している団体である「なんもく大学」に協力を求め、新たな担い手探しを行うことになりました。

5月、八木節保存会となんもく大学のメンバーで話し合い、なんもく大学も今年のお祭りなどに参加することが決まりました。6月には最初の合同練習があ

り、八木節保存会の面々が、なんもく大学のメンバーたちと一緒に太鼓を指導するなど、大いに盛り上がりました。今後も、7月、8月と練習会を予定しており、お祭りでも披露するために頑張っていけます。六車八木節のステージを見て、興味・関心を持ち、「一緒に踊ってみたい人が増えてくれること」を心から祈っています。

今後の予定

- ・8月14日ふるさと祭り
- ・8月26日納涼祭
- ・9月3日カラオケ大会

私にとっては三年目の舞台です。みなさま、ぜひ見に来てください！

く八木節特訓中の 賀籠六でした

## 編集後記

澄み渡る空に映える山の紅葉を前に、柿やクルミなどの木の実は、きりぼし乾燥芋)にする芋を収穫、喜びに浸る。数か月前に南牧村にも訪れるであろうそんな「季節に思いをはせ、セミやヒグラシの声、風や川の音に包まれながら、紙面の編集作業に打ち込む。なんて贅沢な環境にいるんだらうかと、ふと感じた。

秋の話

「秋」の由来は何だろうか？紅葉や熟した木の実の「あか」色が由来であるという説があれば、稲や芋などの穀物が「飽き満ちる 豊富に実る」さまを表すとも言われている。また、澄み渡る「清明 あきらか」な空が由来とも考えられるようだ。

ちなみにアメリカ英語はfall フォール 「落葉」イギリス英語だと autumn オータム 「収穫期」言語は違えど、共通の視点があるのが興味深い。

これからの季節は、ふるさと祭りや大日向の火とぼし、納涼祭、磐戸神社の秋祭り、農業祭などの行事が目白押し。おいでなんし！